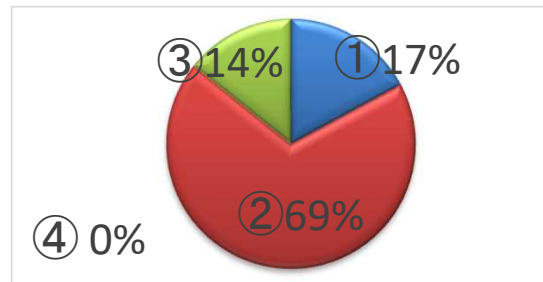


**【質問1】**

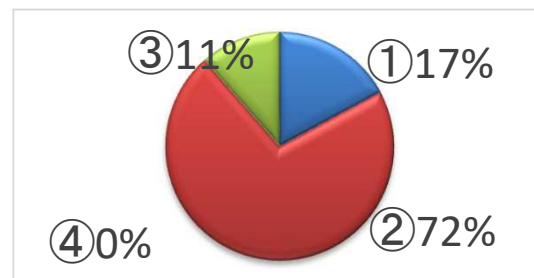
「国有林モニター」を通して、森林・林業・木材産業についての理解は深まりましたか。

	人数(人)	割合
①とても深まった	6	17%
②ある程度深まった	24	69%
③あまり深まらなかった	5	14%
④全く深まらなかった	0	0%
計	35	

**【質問2】**

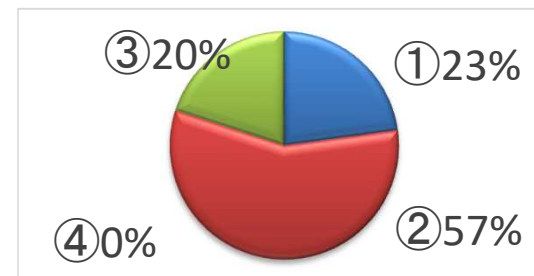
「国有林モニター」を通して、国有林や森林管理局、森林管理署の仕事内容に対する理解は深まりましたか。

	人数(人)	割合
①とても深まった	回答数	回答比率
②ある程度深まった	6	17%
③あまり深まらなかった	25	71%
④全く深まらなかった	4	11%
計	35	

**【質問3】**

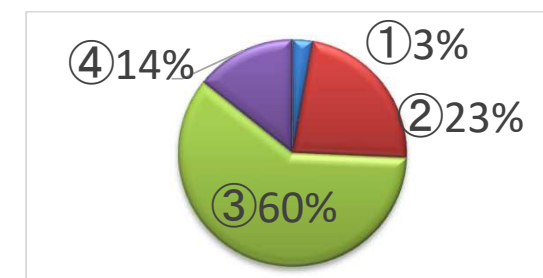
「国有林モニター」を通して、「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」や北海道森林管理局の重点取組事項で紹介している取組について、関心は高まりましたか。

	人数(人)	割合
①とても深まった	8	23%
②ある程度深まった	20	57%
③あまり深まらなかった	7	20%
④全く深まらなかった	0	0%
計	35	

**【質問4】**

「国有林モニター」としての活動はいかがでしたか。

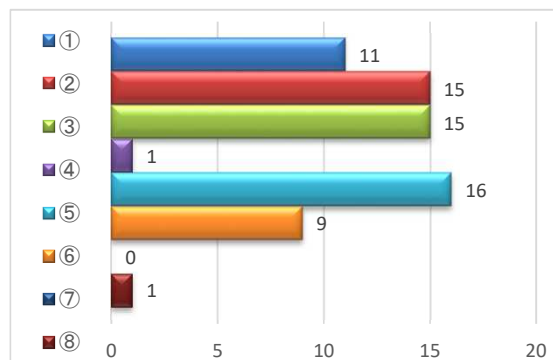
	人数(人)	割合
①とても満足した	1	3%
②ほぼ満足した	8	23%
③あまり満足できなかった	21	60%
④全く満足できなかった	5	14%
計	35	



【質問5-1】

毎月お届けしている広報誌「北の森林国有林」のどのような記事の内容に興味をもちましたか。(2つまで選択可)

	人数(人)	割合
①トピックス(森林管理局各課の取組)	11	16%
②地域の課題解決に向けた取組(森林管理署の取組)	15	22%
③こんにちは森林官	15	22%
④センター通信	1	1%
⑤ 森林の話(若手職員による報告)	16	24%
⑥ 各地からの便り	9	13%
⑦ その他	0	0%
⑧興味のある記事はなかった	1	1%
計	67	



【質問5-2】

2年間の中で最も印象に残っている記事を1つお書きください。

- ・2021.NO.70 センター通信 樹木博士認定会。
- ・造林・育林における作業効率化のための取組。
- ・小学生が参加しているところの記事です。
- ・ドローンを使って森林の生態系を探る記事。
- ・記事ではありませんが、森のイラストや表紙(広報誌)の写真がとても素晴らしくて楽しみにしていました。
- ・記事よりも漫画冊子がわかりやすくとても良かった。
- ・北の森林・国有林「旭川市森林絵巻」。
- ・唯一の行事として育樹祭に参加できたので、関連する記事が参考になりました。植樹祭は知っていましたが、育樹祭は知りませんでした。
- ・きのこの特集記事。
- ・国有林モニターの取組について。
- ・読んではいましたが、記憶に残るものというはなかったように思います。
- ・2020年6月号No.54 ドローンを活用した災害調査業務の効率化・迅速化に向けた取組について(治山課)。
- ・森林整備における省力化・コスト縮減の推進。(2021.12.No.71)
- ・全国育樹祭。
- ・エゾシカ捕獲対策の推進。(2021.2.No.62)
- ・こんにちは森林官で、森林官の業務内容が興味深いです。
- ・2021.2.No.62 のエゾシカ捕獲対策の記事は、同じ厳しい北海道の大地に暮らす生きものに対する畏敬の念が無くなっているこの国に対し、とても残念な気持ちになりました。もとは生態系を壊したのは人間なので電気柵やモンスターウフル等の音で住み分けをしていただきたいです。
- ・末木枝条等の林地未利用材のバイオマス利用の推進。(令和2年9月号)
- ・「北の森漫画」芹内絵師の原画を拝見したいです。
- ・新型コロナウイルス感染症による、林業・木材産業への影響などの記事が特に印象に残っています。木育についてもおもしろかったです。
- ・森林の現状を知る！
- ・何もかも初めてなので興味深いものが沢山あります。林野No.175 の特集ウッド・チェンジ～木づかいが森をよくする暮らしを変える～
- ・こんにちは森林官です！ ・森林の話
- ・マンガによる森のお話。
- ・漫画で学ぶ森林林業、木材産業の魅力、北の森漫画が大変楽しく見ることができました。

【質問5-3】

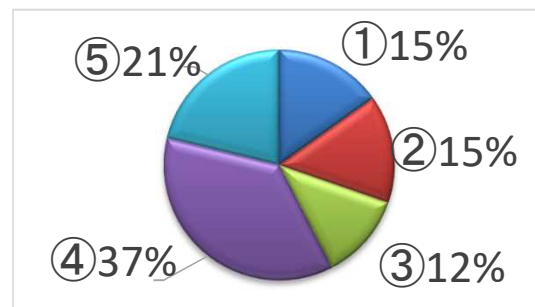
今後追加してほしい記事の内容などがありましたらお書きください。

- ・森林の防災、環境保全の役割を更に広めてほしい。
- ・子供から大人まで参加出来る「木育」について。
- ・レクリエーションの場としての森林の活用について。野外体験活動を充実すべき。
- ・具体的な国有林の認知向上活動。
- ・登山など森林レクリエーションに関する記事、より楽しむために参考になるネタ提供など。
- ・生きものとの共生について。
- ・関連情報などの動画(YouTube)のリンクなど。
- ・人が生まれてから亡くなるまで、木とは切っても切れない関係と同じように、動植物も一生共生していく関係だと思います。森に住む動植物の記事を追加してほしいです。
- ・地方自治体等のバイオマス利用について。
- ・歴史的建造物と時代背景探訪 ・平田さんの仕事場拝見。
- ・木材の需給など国産材の供給量を定期的に掲載していただきたい。
- ・樹木の紹介(例 樹種毎の成長の様子を写真と解説文で紹介)
- ・アイヌ伝承と森林の活用の実態。
- ・市民との交流事業。

【質問6-1】

この2年間に北海道森林管理局のホームページをご覧になりましたか。

	人数(人)	割合
①20回以上見た	5	15%
②10回程度見た	5	15%
③5回程度見た	4	12%
④2, 3回見た	12	36%
⑤見たことはない	7	21%
計	33	



【質問6-2】

ホームページをご覧になる方へ、よくご覧になる記事や印象に残っている記事を1つお書きください。

- ・スマホで使える森林地図。(3名が回答)
- ・北の森漫画。
- ・ドローンの記事。
- ・森林の撮っておき。
- ・新着情報を見ていました。
- ・樹木図鑑。
- ・キノコ先生のきのこ豆知識。
- ・各森林管理署の林班・小林図のアプリがとても参考になった。散策などに使わせてもらった。逆引き辞典。
- ・漫画で学ぶ森林・林業・木材産業の魅力。
- ・北の森漫画。(内容は出色だと思います。)
- ・国民参加の森づくり。

**【質問6-3】**

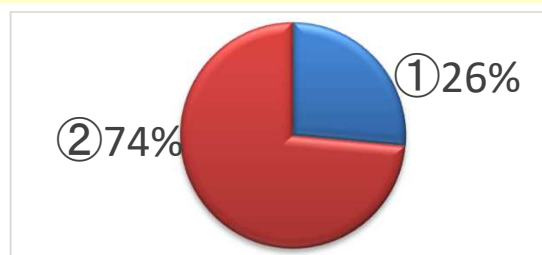
ホームページについて今後追加してほしいコンテンツや改善してほしい点などありましたらお書きください。

- ・「キュンちゃん」(道の観光PRキャラクター)とのコラボを実現してほしいです。
- ・平田さんの漫画を活用した情報提供はお役所とは思えないHPです。もっと宣伝したいと思いました。
- ・登山道等に関するマップ。
- ・燻煙剤(チップ)と食品 ・木製の道具と職人のこだわり
- ・エゾシカ情報マップなどをもう少し詳細にしてくれたら助かります。芦別国道の滝里ダム付近を走行すると多くのエゾシカがいるのでとても走行時は緊張します。
- ・PDFをダウンロードするのではなく、クリックしたら直接アクセスできるようにしてほしい(アクセスしづらいし、情報検索しづらいと感じています)。
- ・市民との交流事業。

**【質問7-1】**

あなたは、この2年間に、何か森林・林業に関するイベント(行事)に参加しましたか。

	人数(人)	割合
①参加した	9	26%
②参加していない	25	74%
計	34	

**【質問7-1】**

「①参加した」と答えた方は、参加したイベント名(行事名)をお書きください。

- ・全国育樹祭。(6名が回答)
- ・平取町でのアイヌ伝承の森についてのフォーラム。
- ・FOEオンラインイベント「バイオマス発電ってエコ？」
- ・環境省オンラインイベント「木質バイオマス発電は2050年カーボンニュートラルに貢献するか」

**【質問7-2】**

今後行ってほしいイベントの内容などありましたらお書きください。

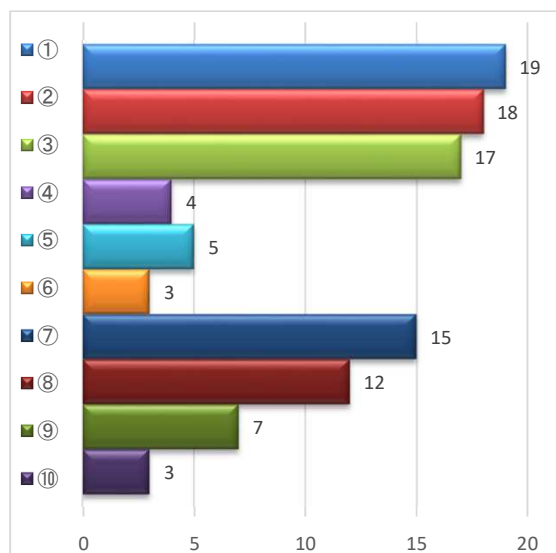
- ・森林づくり技術に関する現地検討会を一般からも参加できるように広報してほしいです。
- ・木材を使った建築物、施設設備等の取組・紹介。
- ・全国育樹祭は、北海道外でも参加したいです。・木育体験のイベント。
- ・森林の体験学習。
- ・現地見学会。
- ・山林に入ること、現地に行って今、森林管理局が困っていること、私達の日常において気をつけてほしいこと等を知りたい。
- ・定山溪営林署があった時代に冬に「旧中山峠を歩くスキー」のイベントがありました。木にまつわる解説を聞きながらのスキーツアーは楽しかったので復活してほしいです。
- ・国有林内の案内会。(植林や伐採現場、動植物の生態観察など)
- ・大学などの教育機関との連携したアカデミックな企画イベントなどの開催。
- ・森林(北海道産)で作った作品の展示販売会。
- ・ドローンの活用による森林管理の見学など。
- ・苫小牧市内で希望します。
- ・森林ウォーキング、木育、国民参加の森づくり。
- ・植樹、砂防ダム見学。
- ・生態系保全に関するイベント(オンライン)。
- ・民有林との連携行事。
- ・大人のための森林教室 ・シニアの木の大切さにふれあう教室。

- ・リサイクルプラザ宮の沢では、環境問題に関連した「エコ映画」をオンラインで開催しています。ぜひ、そのような映画イベントがあるといいと思います。
- ・植樹に関するイベントを開催していただきたい。
- ・3/22(火)P3道新朝刊「メープルシロップ物語」かんじきを履いた樹木採取。
- ・樹木の説明会
- ・視察や説明会

**【質問8】**

北海道森林管理局に期待することは何ですか。(3つまで選択可)

	人数(人)	割合
①持続可能な森林管理(植栽・間伐・伐採)	19	18%
②国土の保全、水源かん養、地球温暖化防止など森林の持つ機能の	18	17%
③希少な動植物の生息の確認や生息地の保護	17	17%
④木材などの安定的な供給	4	4%
⑤林業に関する技術の開発	5	5%
⑥エゾシカによる食害の防止	3	3%
⑦防災、減災や災害復旧のための治山事業	15	15%
⑧レクリエーションの森や地域振興、林業に関する普及啓発	12	12%
⑨市町村等への民有林行政等に関する支援	7	7%
⑩その他	3	3%
計	103	



**⑩その他の意見**

- ・若手の育成のバックアップ。
- ・北海道森林管理局に関する職員と民間との協業的に実施できる企画を立案して、熱量をもった活動に取り組んでいるという姿勢が見える具体的施策。
- ・生きものに対して森林は重要ですので、動物の命を奪うのではなく、共存共生を目指してほしいです。そのためには人材(財)の教育も重要かと思います。

**【質問9】**

2年間の活動に対するご意見・ご感想等をお書きください。

- ・コロナの影響で、ほとんど活動できなかったことを残念に思います。
- ・コロナ禍で期待した活動が十分できなかったのが残念ですが、木・森林などへの関心が更に高まりました。
- ・国有林モニターを通じて、色々学ばせていただきました。ありがとうございます。見学会など参加できる機会がなく残念でした。
- ・イベントに参加することを期待していたが、コロナで実施できずとても残念だった。
- ・やはり、具体的な活動がコロナ禍で皆無だったのでとても残念でした。
- ・コロナ禍で活動する機会がなく、誌面を拝読し森林への理解を深めるという内容でしたが、森林管理などについて関心が高まりました。ありがとうございます。
- ・全く冊子を読むだけなので物足りなかったです。
- ・毎月情報誌を送っていただきありがとうございました。森林について知識が深まりました。
- ・現地に出向いて進化している機械作業、植林や森林管理の現場視察を期待していたが、機会が失われたことは残念でした。日常的に登山、山スキー等で国有林を利用させていただいていますが、森林管理局の皆さんからのお話も聞きたかったです。
- ・コロナの為に2年間ひたすら情報誌を読んでアンケートに答えただけでした。林野庁の方の生の声に接したかったし、他の色々な方の考えも聞きたかったです。大変残念でした。今回は時間の関係でモニターを終了しますが、機会があれば再びと思っています。
- ・現場での活動が皆無であったことと、主催側とのリアルなコミュニケーションが全くできなかったことで、活動を実践できたという具体感が全くない。

・コロナ禍によりモニター会議も現地見学会も無く、モニターとして役割を果たせたのかと思っています。残念に思いました。

・モニターという貴重な経験をさせていただきましたが、全世界的なコロナ禍の影響等から2年間直接お話を聞いたり、現地説明等を伺う機会が無かったことが残念でした。森林管理局の皆さんも何かとご苦勞が多かったのではないかと推察いたします。皆様のご健勝とご活躍を願っております。ありがとうございました。

・リアルなイベントには参加できませんでしたが、情報誌・広報誌等を通じて国有林の理解が少し深まったように思います。ありがとうございました。

・コロナ禍、会議、見学会など中止になりとても残念です。自然豊かな地域に住んでいる事が幸せと感じ、何が1人1人でできるのか考えていきたいです。ありがとうございました。

・直接現場の方の意見を聞くことがなかったのが残念でした。

・コロナ禍で見学会や会議が中止になり残念だった。毎月送付されてくる資料は充実していたが、あまり興味を持つものはなかった。

・現地見学会がなかったのが残念でした。広報誌だけではなかなか頭に内容が入ってこないのので次回は開催されることを期待します。

・コロナ禍で外での活動は難しい部分がありましたが、貴重な資料を毎回いただくことができ、木に対する知識が深まりました。その反面、外国から木材の輸入問題や驚くほど野生動物を殺している事実を知り、危機感がつのりました。日本古来の奥山再生と全ての生きものに優しい林業になってほしいです。素敵な記念品大切にいたします。ありがとうございました。

・コロナのため、モニター会議や現地見学会が開催されず、大変残念でした。引き続きモニターに応募していますので参加したい。

・コロナ禍の2年間で残念でしたが、毎月郵送して下さる資料の開封時は心から楽しみでした。お世話になりました。ありがとうございました。

・一番の期待は現地での説明会でしたが、残念ながらコロナによって開催できず終了するのが残念でした。毎月送られてくる広報誌は内容がよく充実しています。

・現地での木の声を感じてみたかったです。バス遠足で木にまつわる場所へ視察も興味深い活動だと思います。

・本来の屋外での活動、研修ができず残念でした。次期モニターも申し込みましたので(モニターに決定したらの場合ですが)、コロナ禍でも出来る研修会の開催を希望します。2年間貴重な経験をさせていただきました。また、お箸もありがとうございました。大切にさせていただきます。

・わかりやすい様に工夫して頂いたり、他の方の質問や回答を見ることができ、色々考えたり知ることができて、とても良い経験ができたと思います。大変なことと思いますが、国有林モニターはすごい活動です。2年間ありがとうございました。

・期待していたイベントが中止になり残念です。

・なんとなく終了してしまいこれで良かったのかという思いです。頂きました箸を使用しながら国有林モニターをした期間を思い出し、これからも森林に対して興味深く接して行きたいと思っています。2年間ありがとうございました。

・「北の森漫画」は何度も読み返しました。A4版は少し大きいのでA5版程度にして廉価で出版されては如何でしょうか。

・情報誌の送付、閲読、アンケートの回答だけではモチベーションが保てなくなり読まなくなりました。オンライン開催は必要と思います。

・コロナ禍にもかかわらず、2年間資料を送っていただき、ありがとうございました。皆さんと交流する機会が持てず残念ですが、森林に対する取り組み、理解が深まり大変良かったと思っています。